

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	評価日	平成 28 年 2 月 8 日	評価番号	A-335		
評価技術名称					連絡先					
部分開口 構造用合板補強工法					http://www.					
真壁「上下あき」アルミ材下地					〒		電話		Fax	
概要	技術概要									
	床、天井間のみをアルミアングルと構造用合板で補強する工法。									
	技術の特徴						コスト			
	<ul style="list-style-type: none"> 土壁・天井・床・中段・枕棚/天袋を解体することなく真壁や入隅に施工が可能。 真壁の仕上がりで補強が可能 壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能。 						サンプル構面 19,799 円/kN 設計見積り例 —			
公的機関による技術評価・性能証明					実験実施機関					
機関名					名古屋工業大学					
評価番号					その他					
評価取得日										
仕様	適用範囲				写真・図					
	構法		木造在来軸組工法			<p>部分開口 a+b ≤ 370mm それぞれの 構造用合板高さ 400mm 以上</p> <p>厚 9 @ 100</p> <p>下地 アルミアングル</p> <p>半間</p> <p>真壁 上下あき</p> <p>アルミアングルは 正面から見て 40mm</p>				
	規模		3 階建て以下							
	基礎、地盤		特になし							
	適用部位		内部壁							
	その他		特になし							
	主要構成部材の仕様									
	構造用合板 厚 9mm 以上 タッピングビス φ 3×L30、木ビス(コーススレッド) φ 3.8×L32、セルフドリルネジ φ 4×L30 のいずれか @ 100mm 以下、川の字打ち アルミ不等辺アングル 9×40 t=1.5 またはこれ以上のサイズのもの JIS H4100 の A6063-T5 材(アルミ建築構造設計基準で AS110 材)またはこれと同等の強度を有するもの 木ビス(コーススレッド) φ 3.8×L32、先孔 φ 3 アングル角部を斜め打ち									
	耐震性能									
	評価仕様: 真壁仕様									
		壁基準耐力		壁基準剛性						
上下あき		3.64kN/m		511kN/rad/m						
A-111 からの低減係数 α = 0.7 壁基準耐力 5.2 × 0.7 = 3.64										
設計方法										
①柱接合部による低減 取付部分が健全であること ②劣化による低減 取付部分が健全であること										
施工者指定										
特になし										
その他										
H28 年度 ビスの種類追加										
					アルミ不等辺アングル 9×40 t=1.5 またはこれ以上 木ビス(コーススレッド) (3.8×32) 先孔 φ 3 斜め打ち 天井ライン 構造用合板 t=9mm タッピングビス(3×30) 木ビス(コーススレッド) (3.8×32) セルフドリルネジ(4×30)					
					構造用合板が浮く場合はアルミアングルに先孔を用いる					